

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	日本語学科(昼間部1年制)		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	日本事情(中級)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	20 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	501教室
担 当 教 員	中村 絵	実務経験とその関連資格	2013年3月に大学にて日本語教員養成課程を修了。その後、Universidad Espiritu Santo(エクアドル)において2年間、日本語を教えた。帰国後、大阪府立桃谷高等学校III部で半年間、英語を教えるかたわら外国籍の学生に対して日本語を教えていた。			
《授業科目における学習内容》						
四季の変化、日本の行事、文化や風習を学ぶ。日本で生活し、将来日本で働くために日本の文化を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 試験:70% 2. 出席:20% 3. 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ハンドアウト						
《授業外における学習方法》						
次の授業の内容について課題を出します。自分で調べてみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
国の常識と日本の常識の違いを見つけましょう。言葉を覚えるだけが日本語の勉強ではありません。将来日本でさらに勉強したり、働いたりするために、日本の文化や習慣を知っておくことが必要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション	ハンドアウト	次の授業の準備	
		各コマにおける授業予定	留学後に気づいたこと 母国との異なる点について話そう。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ルールを知る	ハンドアウト	次の授業の準備	
		各コマにおける授業予定	学校のガイドブックを見てみよう。 学則、ごみの分別、書類など			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の行事を学び、理解し、日本の行事を知る	ハンドアウト	次の授業の準備	
		各コマにおける授業予定	年中行事			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	地震が起こったときの対応について学び、対策や直後の対応を理解し、自分で自分を守ることができるようになる。	ハンドアウト	次の授業の準備	
		各コマにおける授業予定	防災(1)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	地震が起こったときの対応について学び、対策や直後の対応を理解し、自分で自分を守ることができるようになる。	ハンドアウト	次の授業の準備	
		各コマにおける授業予定	防災施設見学やワークショップの参加			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	末にに参加する。	ハンドアウト	次の授業の準備
		各コマにおける授業予定	地域の祭りや関西の祭りに参加する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	はがきや手紙が書けるようになる。	ハンドアウト	次の授業の準備
		各コマにおける授業予定	暑中見舞いを書く、施設見学後のお礼状を書く。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の文化と自国の文化を比較できる(1)	ハンドアウト	次の授業の準備
		各コマにおける授業予定	日本と母国との違いについてグループワーク		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の文化と自国の文化を比較できる(2)	ハンドアウト	次の授業の準備
		各コマにおける授業予定	日本と母国との違いについてグループワーク		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の文化と自国の文化を比較できる(3)	ハンドアウト	次の授業の準備
		各コマにおける授業予定	日本と母国との違いについて発表		